

アベ政治を  
許さず

参議院議員（比例代表）

2015年9月15日 Vol.18

# なたにや正義

## 安法制関連ニュース



### 「違憲」「戦争法案」との意見が続出

本日の特別委員会は中央公聴会が行われ、公述人として坂元一哉・大阪大学大学院教授、濱田邦夫・元最高裁判事、白石隆・政策研究大学院学長、小林節・慶応大学名誉教授、松井芳郎・名古屋大学名誉教授、奥田愛基・明治学院大学学生（SEALDs）から意見を伺いました。

坂元・公述人は、今回の安法制案を「日米の同盟協力を格段に強化し、抑止力を飛躍的に高める」などと評価しました。

濱田・公述人は、砂川事件最高裁判決について「個別的または集団的自衛権について争われた事案ではない。それを根拠として取り上げたことは問題」と述べ、昭和47年の政府見解を根拠としたことも「悪しき例」と厳しく指摘しました。

白石・公述人は、「日本の安全は世界の平和と安全があって初めて守ることができる。安全保障環境は急速に変わっており、具体的な議論をし、法整備を整えなければならない」と法案の必要性を訴えました。

小林・公述人は、「軍隊として海外派兵ができるようになる今回の安法制は、端的に言って『戦争法案』。憲法は権力者をしぼるものであり、憲法解釈だけで何でもできるとなったら独裁政治の始まりだ」と暴走を続ける安倍政権を痛烈に批判しました。

松井・公述人は、ホルムズ海峡の機雷敷設の件を取り上げ、「どの国が、どの国に対して行うものかという議論がない。違法行為ではあるが、武力の威嚇ではないので武力以外の方法を行すべき」と述べ、さらに有事の際に米艦船が邦人を輸送する件についても「軍艦は（敵国にとって）合法的な攻撃対象。通常、民間人は乗せない。例としてはおかしい話」と指摘しました。

奥田・公述人は、安法制に反対するデモ等の参加者について、「政治的に無関心な若者が個人で主体的に考え行動している。不断の努力なくして民主主義は成り立たない。声をあげることは当たり前である」と述べ、法案審議については、「若者が絶望するような政治手法はとらないで欲しい。若者に希望を与えるような政治家であって欲しい。どうかもう一度考え直して下さい」と与党委員に訴えかけました。

公述人の意見表明後に、民主党から蓮舫議員が質問に立ち、「安法制は必要だが、憲法の枠内で行うべき。今回の安法制案は合憲か」と濱田公述人に尋ねました。濱田公述人は「違憲です」と端的に答え、

さらにホルムズ海峡の事例についての立法事実を尋ねたところ、濱田公述人から「納得できるような立法事実が必要であり、国民の納得性が重要である」と指摘しました。

### なたにやの「今日のひと言」

強行に立てられた中央公聴会が開かれました。元最高裁判事の濱田さんと、SEALDsの明治学院大学学生の奥田さんの陳述と質問に対する答弁は痛快きわまるものでした。

安法制案は違憲であり、若者を戦場に送ることができる、とんでもない法案で、これを強行採決するならば、まさに立憲主義の破壊行為であると明言し、これまでの委員会の中で、もっともわかりやすい意見であり、答弁でした。

一方、公聴会の後に突然、理事懇談会の呼びかけが行われ、明日の地方公聴会の後、締めくくり総括的質疑が提案されました。

この国会運営を到底のめるはずもなく、二度にわたる理事懇で拒否し続けましたが、与党は数の力で特別委員会を委員長職権で行う暴挙に出ました。

徹底抗戦の幕が切って落とされました。

### 今後の特別委・開会予定

明日は横浜で地方公聴会が開催され、**那谷屋が公述人に対し質問します。質疑時間は13:50～14:00でネット中継が予定されています。**

※与党側は明日、明後日にも採決を狙ってきています。何か動き等があればHP、facebook等でお知らせします。

発行：参議院議員 **なたにや正義** 事務所  
〒100-8962 千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館409号室  
TEL: 03-6550-0409  
FAX: 03-6551-0409  
masayoshi\_nataniya@sangiin.go.jp  
<http://nataniya.jp/>